

講義コード	11C0128300	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員	井出 宏美	開講期	第1期
科目名	簿記					井出 宏美		第1期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>企業における日々の経営活動を記録・計算・整理して、その結果をまとめ、一定期間における経営成績や一定時点における財政状態を明らかにする技術が簿記です。企業は、これによって経営活動の実態を把握し、これまでのあり方を反省したり将来に対しての方針を立てたりする場合のよりどころとします。本講義は簿記の基礎力を養うことを目的とします。学習の進行状況により練習問題を解くこととなりますので、電卓を用意しておく必要があります。</p>								
到達目標	<p>簿記は仕訳に始まり仕訳に終わると言っても過言ではありません。その簿記の第一歩となる教科書中講義で取り上げた項目の範囲での仕訳ができる。ことを目標と致します。</p>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>毎回の講義の復習を授業中に指示された練習問題を中心に毎日反復して行うこと。 毎日60分以上の学修を行うこと。(計60時間以上)</p>								
授業計画	<p>【第1回】ガイダンス・講義での約束事・授業計画の説明・成績の評価方法等 ※重要な授業方針を伝えますので必ず出席してください。 【第2回】貸借対照表と損益計算書作成の第一歩：簿記のルールその1「仕訳」 【第3回】貸借対照表と損益計算書作成の第一歩：簿記のルールその2「転記」 【第4回】①簿記上の現金②現金過不足の処理方法 【第5回】①当座預金と当座借越②小口現金とインプレストシステム 【第6回】①商品売買取引（分記法と3分法） 【第7回】①商品売買取引（諸掛・値引・返品処理）②売上原価と期末商品棚卸高 【第8回】①前払金・前受金②貸付金・借入金③売掛金と未収金・買掛金と未払金 【第9回】①立替金・預り金②仮払金・仮受金③商品券・他店商品券 【第10回】①手形の種類②手形の振出し・受入れ・引受け③手形代金の取立て・支払い 【第11回】①手形の裏書譲渡②手形の割引③受取手形記入帳④手形貸付金・手形借入金 【第12回】①有価証券の取得と売却②有価証券利息・受取配当金③有価証券の期末評価 【第13回】①有形固定資産の取得と売却②減価償却費の計算と記帳方法 【第14回】①貸倒損失②貸倒引当金の見積もり③差額補充法 【第15回】①収益の見越し・繰延べ②費用の見越し・繰延べ③消耗品と消耗品費の処理</p>								
成績評価の方法	<p>1) 第1期終了科目試験によって評価します。(90%) 2) 練習問題レポートの提出及びに授業への取り組み姿勢を加味します。(10%)</p>								
フィードバックの内容									
教科書	『検定簿記講義3級商業簿記』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子（中央経済社）平成29年度版								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	<p>①講義終了後の申し出により、原則として、当日16時30分まで対応致します。 ②その他、事前申し込みは、経済学部事務室に希望日をご連絡下さい。 但し、対応時間は講義のある木曜の16時からとなります。</p>								
その他									